

－ 意見募集実施結果 －

案件名	和田幼稚園と日比幼稚園の今後のあり方について
募集期間	令和4年5月2日（月）～令和4年5月25日（水）
周知方法	<ul style="list-style-type: none"> ・各市民センター、すこやかセンター、市役所情報公開室に資料を設置 ・玉野市のホームページに掲載 ・広報たまの5月号に案内チラシを差込 和田・日比地区約3,500部配布

■意見提出者数等

【意見提出者数】 3名（※いずれも園児保護者、施設利用希望者等ではない人）

【意見提出方法】 電子メール：2名 持参：1名

■意見（概要）

※「玉野市幼保一体化等将来計画（改正版）」については、＜一体化計画＞と表記

番号	意見（概要）
No.1	<ul style="list-style-type: none"> ➢二つの幼稚園のみの検討ではなく、保育園（渋川、和田）も含め検討してほしい。＜一体化計画＞に沿った集約・検討が必要と考える。 ➢小学校の集約も考慮すべきである。最近の新聞記事から小学校も2校から1校に集約されるのではないかと推測される。
No.2	<ul style="list-style-type: none"> ➢和田幼稚園児の人数が年々減少している状況で、幼稚園の統合は色々な面から避けられないと考える。 ➢登園時には①ミネルバ → ②和田市民センター → ③ 日比幼稚園に通園バスを運営してはどうか（降園時には逆ルート）。以下、その理由。 <ul style="list-style-type: none"> ・通園時に和田幼稚園に行くのと、ミネルバに行くのは、ほぼ同じ通路と距離で相違が小さい。 ・ミネルバは駐車場も広く、集合場所に最適で、緊急連絡等でミネルバ事務所が利用できる。 ・和田市民センターを第二集合所にすれば、通園距離が短くなる園児と保護者に便利である。 ➢上記通園バスの運営が有れば、現状（統合前）との差異が小さく、関係者（保護者等）の賛同を得やすいと考える。
No.3	<p>1. 和田幼稚園の集約先について</p> <p>和田幼稚園の今回の集約先として、日比幼稚園が選定され検討が進められているが、以下の点に鑑み、適正と言えるのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和田・日比地区4園の最終的な統合先が日比幼稚園でない場合、駐車場の確保に係る費用は余分な投資若しくは費用として、いわゆる二重投資になるのではないか。 ・日比幼稚園の耐震補強は終わっているのか。もし終わっていないとすれば、園児の安全面で著しい問題があるのではないか。 ・和田幼稚園の集約先を日比幼稚園より近隣の和田保育園とし、認定こども園としないのはなぜか。集約先を和田保育園とした場合は駐車場の確保も不要となり、施設も新耐震基準（震度6～7を想定）で建築された施設で日比幼稚園よりも安全な施設であると言える。 <p>2. 和田・日比地区4園の統合先について</p> <p>和田・日比地区4園の統合については、以下の課題があると思料されるが、最終的にはどの園への統合を計画若しくは想定しているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年4月の4園合計の園児数は、いずれの園でも認可定員を上回るが、将来的に認可定員の範囲内に収まることを見込んでいるのか。また、和田幼稚園又は日比幼稚園を4園の最終的な統合先とする場合は耐震面での補強若しくは建替えが必要となり、相応の費用が発生するがどのように考えているのか。

	<ul style="list-style-type: none"> ・4園を統合した場合、必要となる職員数が減少するが、＜一体化計画＞のパブリックコメントの回答で「手厚い教育・保育の実施と同様に、適切な集団による教育・保育の実施の観点も重要だと考えています。」とあるが、「適切な集団による教育・保育の実施」の観点でどのような人員計画を検討若しくは想定しているのか。「適切な集団による教育・保育の実施」のための適正児童数規模や職員数について学術的な根拠等を踏まえ、どのように考えているのか。
	<p>3. 子育て支援による人口増加に向けてのPRについて</p> <p>柴田新市長は「若い世代が魅力を感じる子育てしやすく住みやすいまち」を選挙公約として、「移住支援策の強化」をうたっているが、子育て支援に関するPRについて以下の点に関してどのように行っているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、玉野市では待機児童が発生しているのか。 ・「たまの子育てガイド」や「たまの子育てアプリ」などの情報発信ツールを活用して、市外の子育て世代を対象として、人口増加に向けてどのようにPRを行ってきたのか若しくは行おうとしているのか。

■主な意見に対する考え方

意見、質問等	意見に対する考え方
<ul style="list-style-type: none"> ○和田・日比地区の幼保施設の集約は必要。 ○園児数が減少する中で、施設の統合は避けられない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●＜一体化計画＞を基軸に統合を進めていく方針である。
<ul style="list-style-type: none"> ○通園の利便性向上を図るため、送迎バスを運行してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●現時点では送迎バスについて未検討であるが、集約後の登降園の実態を早期に確認し、対応を考えたい。
<ul style="list-style-type: none"> ○和田幼稚園の集約先を日比幼稚園とすることは、駐車場整備の費用負担の発生や耐震化の状況から、不合理ではないか。 ○和田幼稚園を和田保育園に統合し、認定こども園として運営しないのはなぜか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●和田・日比地区の幼保施設4園の統合を目指す中で、園児の減少と老朽化が著しい和田幼稚園を先行的に他施設に集約することとした。この場合、集約先として、現時点で教育利用体制が整っている日比幼稚園が最適であると判断したものである。 ●日比幼稚園の駐車場整備や耐震化の課題はあるが、和田幼稚園の園児にとって、より望ましい教育環境を速やかに提供できる点を優先的に考慮している。
<ul style="list-style-type: none"> ○認可定員内に収まる前提で、和田・日比地区の4園を既存の一つの施設に統合する場合は、耐震化の費用が発生するのではないか。 ○「適切な集団による教育・保育の実施」について、どのように捉え、それを職員配置に反映させるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●既存施設の活用、あるいは施設の新築により統合を果たすことが想定されるが、いずれの手法を採った場合でも、相応の費用負担は生じることとなる。 ●「適切な集団による教育・保育の実施」については、幼少期的人格形成時における少人数での園生活による人間関係の固着性が惹起する弊害を生じさせないためにも、一定規模での集団生活が必要であると考えており、それに応じた職員配置を行うこととする。
<ul style="list-style-type: none"> ○現在、玉野市では待機児童が発生しているのか。 ○情報発信ツールを活用して、人口増加に向けたPRをどのように行ってきたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●令和4年4月1日現在、玉野市では待機児童は発生していない。 ●人口増加に向けたPRは主にWeb上で行っているが、その中で玉野市が取り組む子育て支援策などを紹介している。